

富岡市・甘楽町地域 循環型社会形成推進地域計画

富 岡 市

甘 楽 町

富岡甘楽広域市町村圏振興整備組合

平成30年11月15日 策定

令和元年10月11日 変更

令和2年4月1日 変更

令和2年10月1日 変更

令和3年11月24日 変更

令和4年12月12日 変更

目 次

1	地域の循環型社会形成を推進するための基本的な事項	
(1)	対象地域	1
(2)	計画期間	1
(3)	基本的な方向	1
(4)	ごみ処理の広域化・施設の集約化の検討状況	2
(5)	プラスチック資源の分別収集及び再商品化に係る実施内容	3
2	循環型社会形成推進のための現状と目標	
(1)	一般廃棄物等の処理の現状	4
(2)	生活排水の処理の現状	6
(3)	一般廃棄物等の処理の目標	9
(4)	生活排水の処理の目標	12
3	施策の内容	
(1)	発生抑制、再使用の推進	15
(2)	処理体制	16
(3)	処理施設の整備	19
(4)	施設整備に関する計画支援事業	20
(5)	その他の施策	20
4	計画のフォローアップと事後評価	
(1)	計画のフォローアップ	21
(2)	事後評価及び計画の見直し	21
[添付資料]		
	添付資料1：対象地域図	22
	添付資料2：トレンドグラフ	23
	添付資料3：地域内の施設の現況と予定	27
	添付資料4：現有及び新設予定の廃棄物処理施設が所在する地域のハザードマップ	30
	添付資料5：国土強靱化地域計画	34
	（様式1）：循環型社会形成推進交付金等事業実施計画総括表1	36
	（様式2）：循環型社会形成推進交付金等事業実施計画総括表2	39
	参考資料様式	
	・参考資料様式6：施設概要（し尿処理施設系）	40
	・参考資料様式7：施設概要（浄化槽系）	41
	・参考資料様式8：計画支援概要	42

1 地域の循環型社会形成を推進するための基本的な事項

(1) 対象地域

構成市町村名 富岡市、甘楽町
面積 181.46 km²
人口 62,486人 (平成30年4月1日現在)

(内訳)

市町村名	富岡市	甘楽町
面積 (km ²)	122.85	58.61
人口 (人)	49,274	13,212

* 参考として「対象地域図」を添付資料1に示す。

(2) 計画期間

本計画は、平成31年4月1日から令和6年3月31日までの5年間を計画期間とする。
なお、目標の達成状況や社会経済情勢の変化等を踏まえ、必要な場合には計画を見直すものとする。

(3) 基本的な方向

富岡市、甘楽町地域は、群馬県の南西部に位置し、東京から約100kmの距離にあり、関越自動車道、上信越自動車道によって首都圏、信越地方と結ばれている。

世界遺産に登録された富岡製糸場、国指定名勝の楽山園など史跡も多く、観光振興にも力を入れている。

このような地域特性から、観光業を主体とする事業系ごみの割合が増加している。

また、生活排水処理については、公共下水道整備に伴い処理率は向上しており、これに伴い、し尿処理施設におけるし尿浄化槽汚泥の処理量は減少しているが、し尿処理施設の老朽化対策が課題となっている。

富岡市、甘楽町地域の今後の基本方針としては、循環型社会形成推進基本法に定める基本原則を踏まえ、次の事項を基本的な方策として資源循環型社会の形成を目指すものとする。

ア 生活環境の確保

一般廃棄物(ごみ)処理基本計画(以下「ごみ処理基本計画」という。)に基づき、ごみを速やかに収集・運搬し、衛生的な生活環境の保全に努める。

イ 循環型社会形成の推進

ごみ処理基本計画に基づき、排出抑制の徹底及び再資源化量の増加を目指すとともに、廃棄物の発生から最終処分まで衛生的で適正な収集・運搬、処理・処分を行う。

- ・ 減量化・再使用 : 2市町が連携した啓発活動を推進する。
- ・ 再資源化 : 2市町が連携して、ごみ分別収集の徹底を図り、有価物の集団回収等により、資源化率向上を推進し、さらに再生品等の積極利用を促進する。
- ・ エネルギー回収等 : ごみ焼却熱の有効利用を図る。

ウ 中間処理施設の計画と適正管理

資源化できないごみについては、長期的に安定した処理性能を有する中間処理施設を整備することにより、適正処理を行うとともに、併せて費用対効果が高く、かつ適正な維持管理を継続的に図るものとする。

エ 最終処分場の延命

適正なごみの処理・処分を完結させるため、減量化・減容化により最終処分場の負荷の軽減を図るとともに、中長期的な処理・処分体系を確保することにより延命を図る。

オ 生活排水処理の推進

生活排水処理については、一般廃棄物（生活排水）処理基本計画に基づき、下水道による処理を主体とし、下水道計画区域にあつては公共下水道の整備と未接続家庭等の接続率の向上を図り、下水道計画区域外の区域では、合併処理浄化槽の設置を推進する。

また、2市町と連携し、富岡甘楽衛生施設組合で運営している現有のし尿処理施設は、老朽化に加え下水道の普及により処理量が減少し、施設規模が過大となっていることから、令和5年度竣工を目途に、適正な規模で施設の更新を行う。

新施設は、省エネ、省資源、資源化に配慮した汚泥再生処理センターとする。

(4) ごみ処理の広域化・施設の集約化の検討状況

群馬県は、平成29年3月に「一般廃棄物処理広域化マスタープラン」を策定し、県全体として最適と考える広域化のためのブロック区分（県内9ブロック）を示した。その中で、富岡市、甘楽町地域は、「藤岡富岡ブロック」に位置付けられている。

藤岡富岡ブロックでは、平成26年1月にブロック協議会（富岡甘楽地域）を設立し、富岡市・甘楽町・下仁田町・南牧村での一般廃棄物処理の広域化に向けた協議を実施している。

2市町（富岡市・甘楽町）のし尿処理施設については、施設稼働から40年を経過し老朽化が著しいことから新たに建設することとし、一般廃棄物処理広域化マスタープランの実現に向けた協議を継続して行っていく。

(5) プラスチック資源の分別収集及び再商品化に係る実施内容

住民がプラスチック使用製品の使用を合理化し、プラスチック使用製品廃棄物の排出を抑制するよう、また認定プラスチック使用製品を使用するようごみ出しカレンダーや広報誌等で啓発・情報提供を行う。

プラスチック資源は当面の間可燃ごみとして焼却処分を継続するが、今後コストや環境影響等の情報収集を行い、財政状況等を踏まえながら分別収集・再商品化の実施方法や実施時期について検討を行う。

2 循環型社会形成推進のための現状と目標

(1) 一般廃棄物等の処理の現状

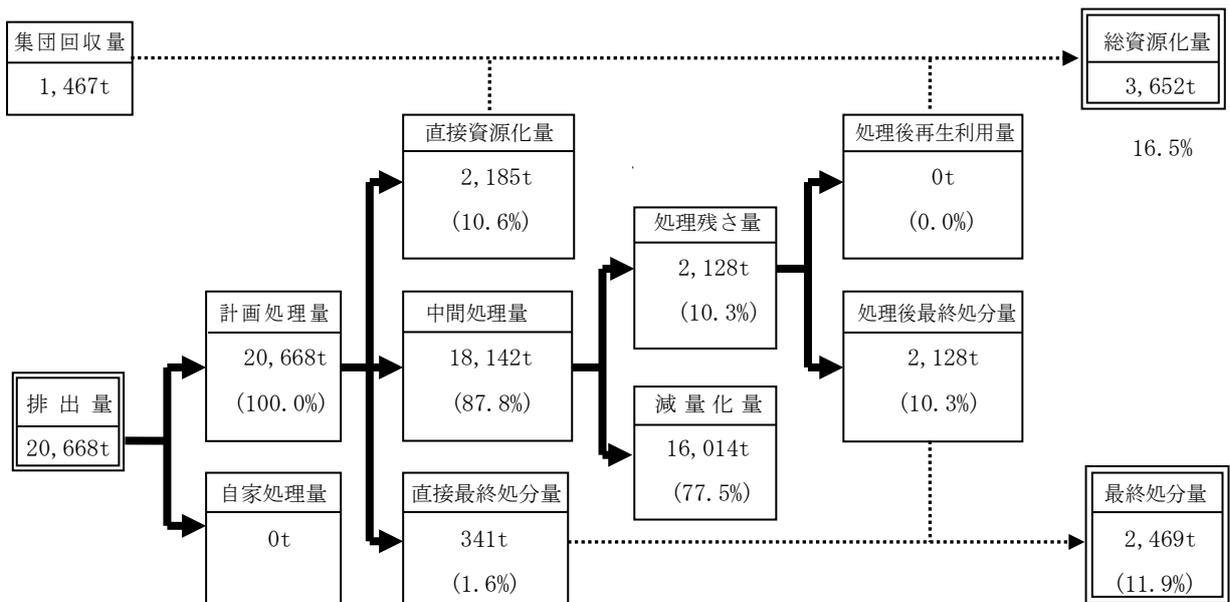
平成29年度の一般廃棄物の排出、処理状況は図1-1のとおりである。

総排出量は集団回収量も含め、22,135トンであり、再生利用される「総資源化量」は3,652トン、リサイクル率(= (直接資源化量+中間処理後の再生利用量+集団回収量) / (ごみの総処理量+集団回収量))は16.5%である。

中間処理による減量化量は、16,014トンであり、集団回収量を除いた排出量の77.5%が減量化されている。また、集団回収量を除いた排出量の11.9%に当たる2,469トンが埋め立てられている。

なお、中間処理量のうち、焼却量は17,773トンである。焼却施設では、温水の場内利用を行っている。

(地域全体)

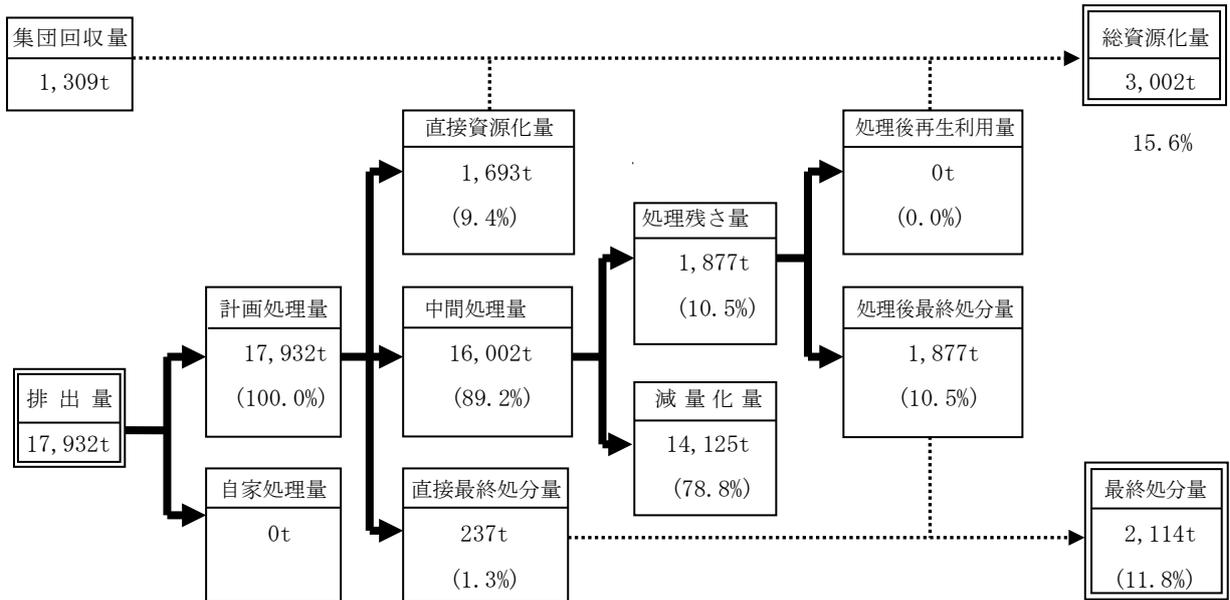


() 内数値は、排出量に対する割合

※端数処理により割合・合計が合わないことがある。

図1-1 一般廃棄物の処理状況フロー (平成29年度)

(富岡市)

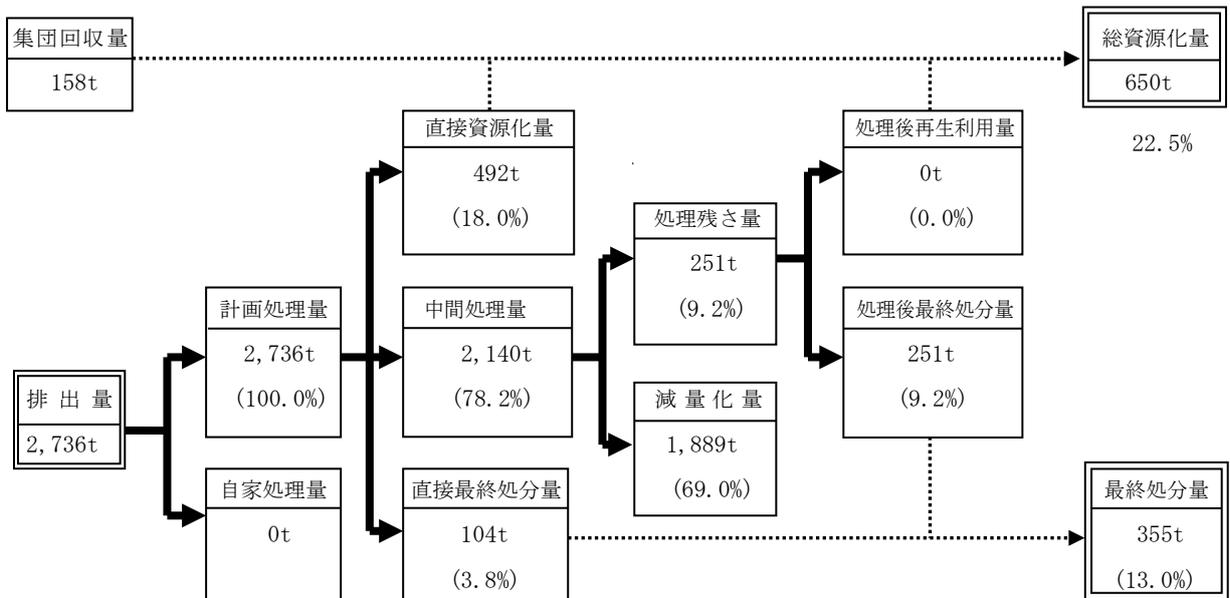


() 内数値は、排出量に対する割合

※端数処理により割合・合計が合わないことがある。

図 1-2 一般廃棄物の処理状況フロー (平成 29 年度)

(甘楽町)

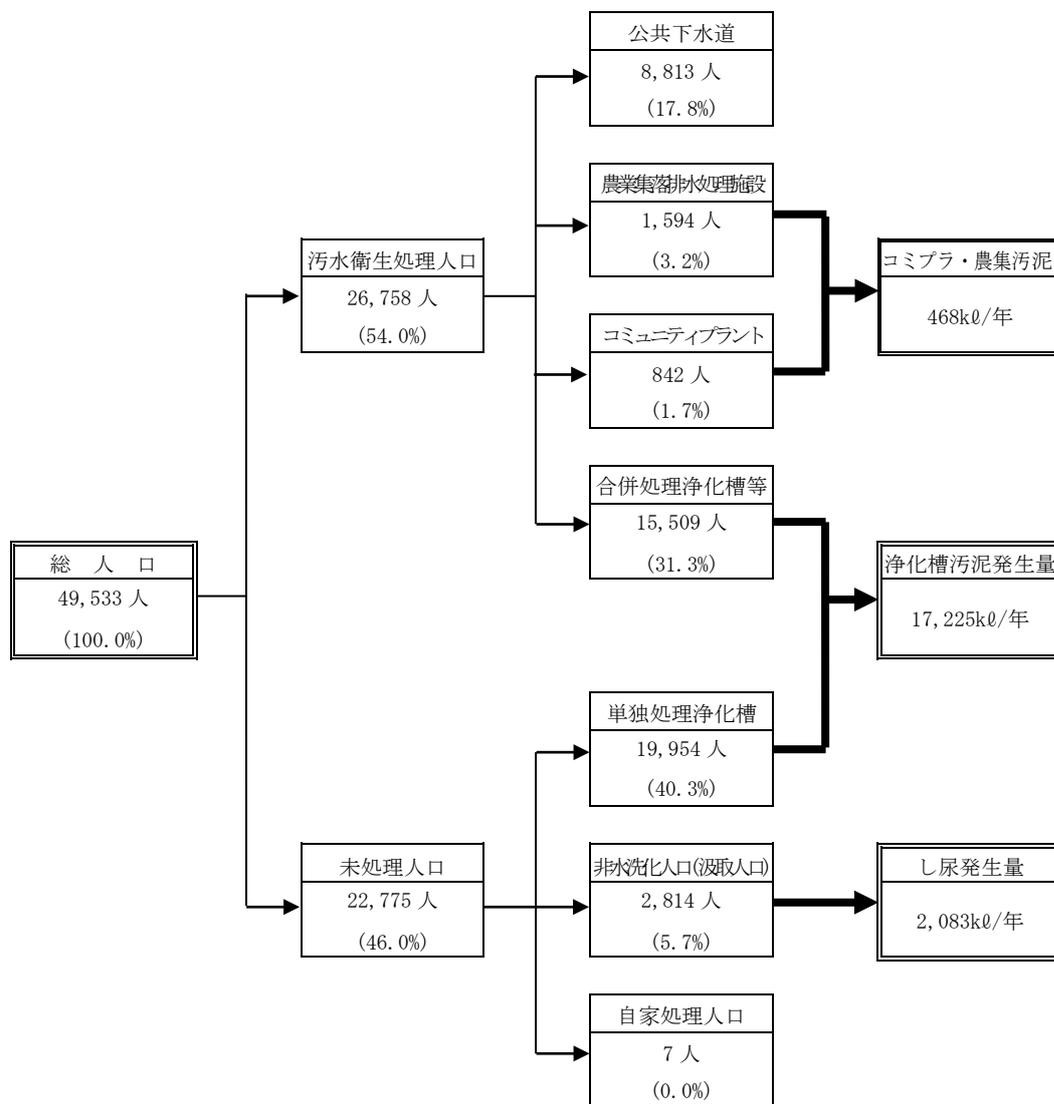


() 内数値は、排出量に対する割合

※端数処理により割合・合計が合わないことがある。

図 1-3 一般廃棄物の処理状況フロー (平成 29 年度)

(富岡市)



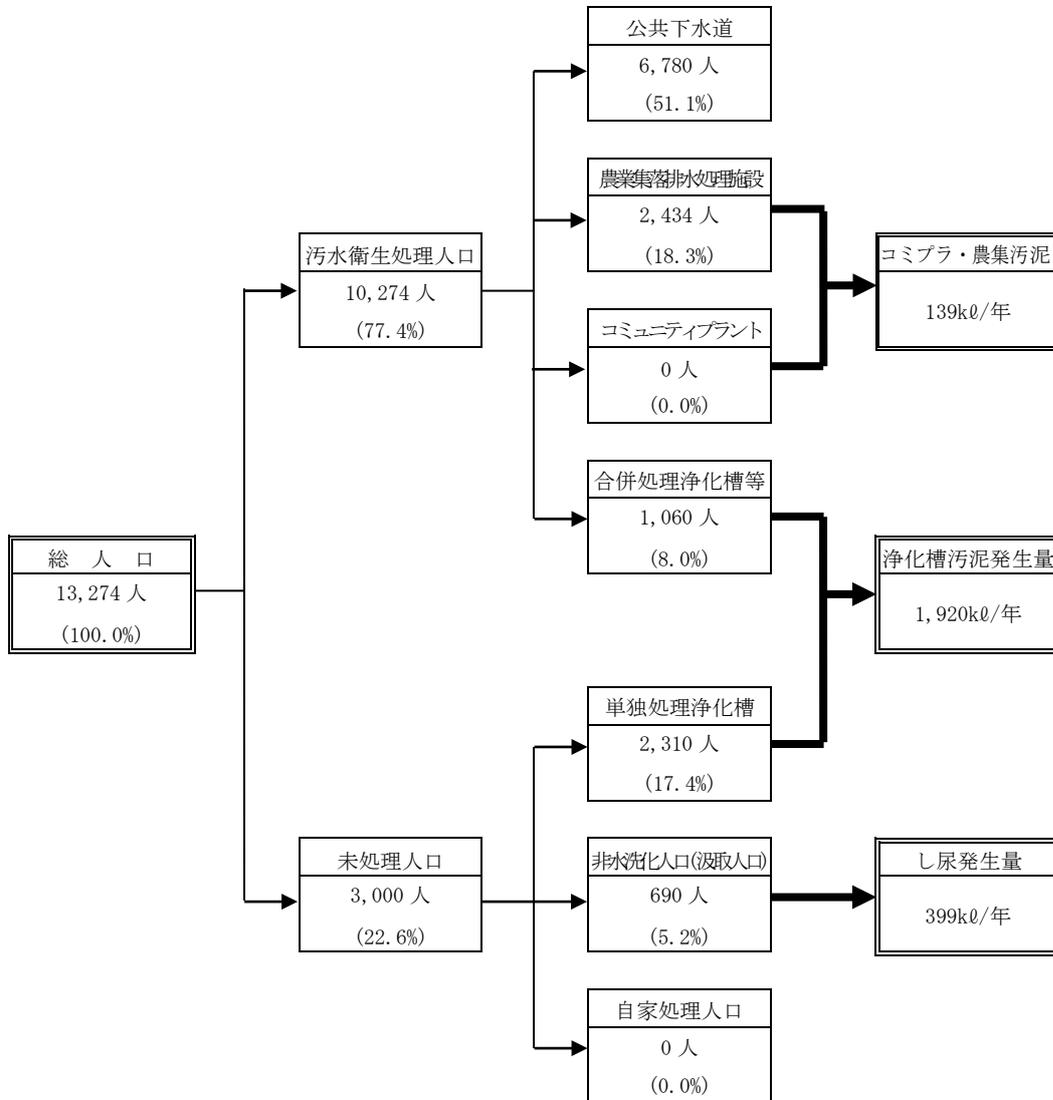
() 内数値は、総人口に対する割合

※下水衛生処理人口：下水処理施設に接続されている人口

※端数処理により割合・合計が合わないことがある。

図2-2 生活排水の処理状況フロー（平成29年度）

(甘楽町)



() 内数値は、総人口に対する割合

※汚水衛生処理人口：汚水処理施設に接続されている人口

※端数処理により割合・合計が合わないことがある。

図 2 - 3 生活排水の処理状況フロー（平成 29 年度）

(3) 一般廃棄物等の処理の目標

本計画の計画期間中においては、廃棄物の減量化を含め循環型社会の実現を目指し、表1のとおり目標量について定め、それぞれの施策に取り組んでいくものとする。

なお、事業系ごみについては、観光客の増加等により総排出量の増加が見込まれる。

表1 減量化、再生利用に関する現状と目標

指 標		現 状 (割合※1) (平成29年度)	目 標 (割合※1) (令和6年度)
排 出 量	事業系 総排出量	4,928 トン	5,356 トン (+8.7%)
	1事業所当たりの排出量※2	16.6 トン/事業所	16.2 トン/事業所 (-2.4%)
	生活系 総排出量	15,740 トン	14,496 トン (-7.9%)
	1人当たりの排出量※3	251kg/人	250kg/人 (-0.4%)
	合計 事業系生活系排出量	20,668 トン	19,852 トン (-3.9%)
再生利用量	直接資源化量	2,185 トン (10.6%)	2,433 トン (12.3%)
	総資源化量	3,652 トン (16.5%)	3,976 トン (18.6%)
エネルギー回収量	エネルギー回収量(年間の発電電力量及び熱利用量)	—	—
最終処分量	埋立最終処分量	2,469 トン (11.9%)	2,411 トン (12.1%)

※1 排出量は現状に対する増減割合、直接資源化量・埋立最終処分量は排出量に対する割合、総資源化量は排出量+集団回収量に対する割合

※2 (1事業所当たりの排出量) = {(事業系ごみの総排出量) - (事業系ごみの資源ごみ量)} / (事業所数)

※3 (1人当たりの排出量) = {(生活系ごみの総排出量) - (生活系ごみの資源ごみ量)} / (人口)

《用語の定義》

排出量：事業系ごみ、生活系ごみを問わず、出されたごみの量（集団回収されたごみを除く）[単位：トン]

再生利用量：集団回収量、直接資源化量、中間処理後の再生利用量の和 [単位：トン]

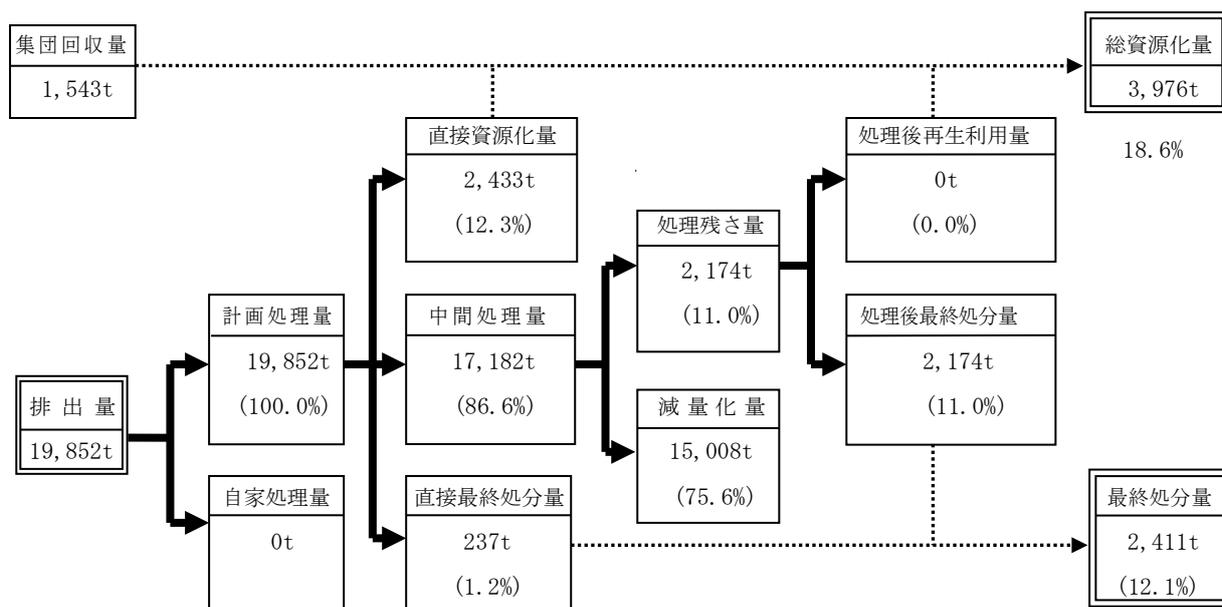
エネルギー回収量：エネルギー回収施設において発電された年間の発電電力量 [単位：MWh] 及び熱利用量 [単位：GJ]

最終処分量：埋立処分された量 [単位：トン]

表1補足 市町村ごとの減量化、再生利用に関する現状と目標

指 標		現 状 (割合※1) (平成29年度)	目 標 (割合※1) (令和6年度)
富 岡 市	事業系 総排出量	4,563 トン	5,041 トン (+10.5%)
	1事業所当たりの排出量※2	17.5 トン/事業所	17.3 トン/事業所 (-1.1%)
	生活系 総排出量	13,369 トン	12,459 トン (-6.8%)
	1人当たりの排出量※3	270kg/人	272kg/人 (+0.7%)
	合計 事業系生活系排出量	17,932 トン	17,500 トン (-2.4%)
	直接資源化量	1,693 トン (9.4%)	1,945 トン (11.1%)
	総資源化量	3,002 トン (15.6%)	3,286 トン (17.4%)
	埋立最終処分量	2,114 トン (11.8%)	2,097 トン (12.0%)
甘 楽 町	事業系 総排出量	365 トン	315 トン (-13.7%)
	1事業所当たりの排出量※2	10.4 トン/事業所	7.9 トン/事業所 (-24.0%)
	生活系 総排出量	2,371 トン	2,037 トン (-14.1%)
	1人当たりの排出量※3	179kg/人	166kg/人 (-7.3%)
	合計 事業系生活系排出量	2,736 トン	2,352 トン (-14.0%)
	直接資源化量	492 トン (18.0%)	488 トン (20.7%)
	総資源化量	650 トン (22.5%)	690 トン (27.0%)
	埋立最終処分量	355 トン (13.0%)	314 トン (13.4%)

(地域全体)

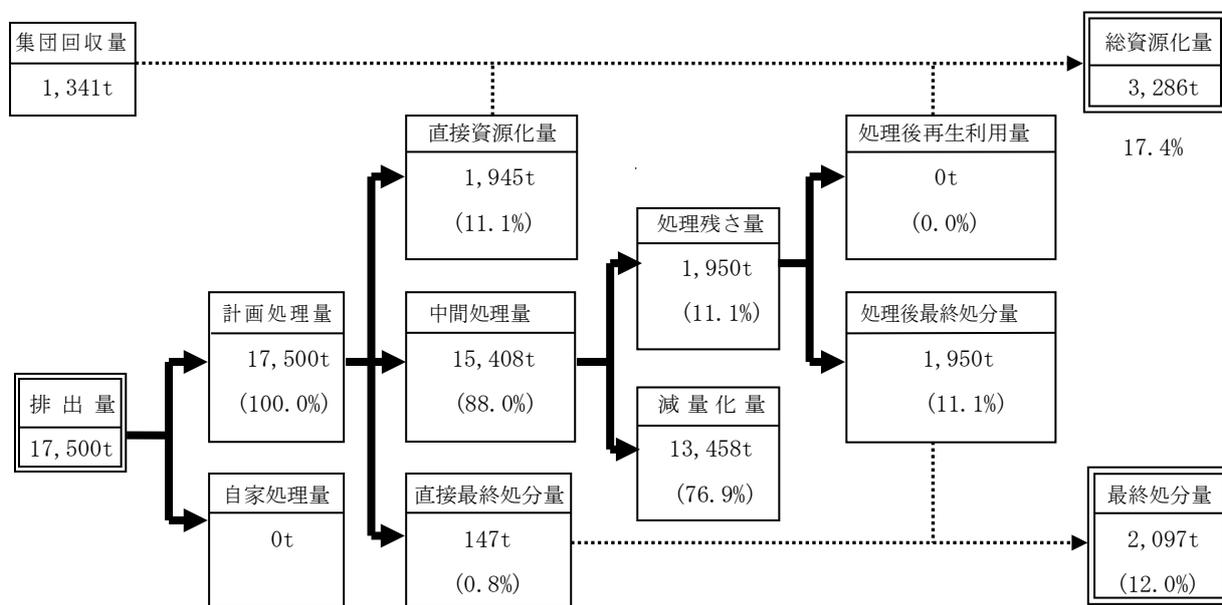


() 内数値は、排出量に対する割合

※端数処理により割合・合計が合わないことがある。

図3-1 目標達成時の一般廃棄物の処理状況フロー（令和6年度）

(富岡市)

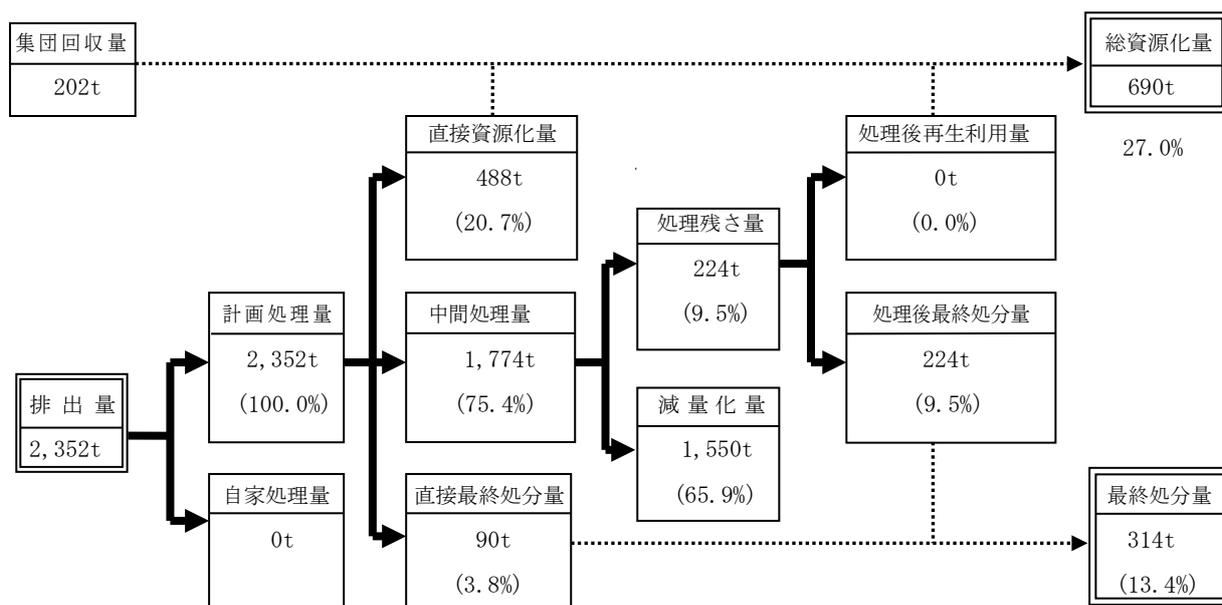


() 内数値は、排出量に対する割合

※端数処理により割合・合計が合わないことがある。

図3-2 目標達成時の一般廃棄物の処理状況フロー（令和6年度）

(甘楽町)



() 内数値は、排出量に対する割合

※端数処理により割合・合計が合わないことがある。

図3-3 目標達成時の一般廃棄物の処理状況フロー（令和6年度）

(4) 生活排水の処理の目標

生活排水処理については、表2に掲げる目標のとおり、合併処理浄化槽の整備等を進めていくものとする。

表2 生活排水処理に関する現状と目標

		平成29年度実績	令和6年度目標
処理形態別 人口	公共下水道	15,593人 (24.8%)	17,626人 (30.4%)
	農業集落排水施設等	4,870人 (7.8%)	2,569人 (4.4%)
	合併処理浄化槽等	16,569人 (26.4%)	17,897人 (30.8%)
	未処理人口	25,775人 (41.0%)	19,923人 (34.3%)
	合計	62,807人	58,015人
し尿・汚泥 の量	汲み取りし尿量	2,482 kℓ	1,179 kℓ
	浄化槽汚泥量	19,752 kℓ	15,645 kℓ
	合計	22,234 kℓ	16,824 kℓ

注) 農業集落排水施設等にはコミュニティプラントを含む。

(地域全体)



図4-1 目標達成時の生活排水の処理状況フロー (令和6年度)

(富岡市)

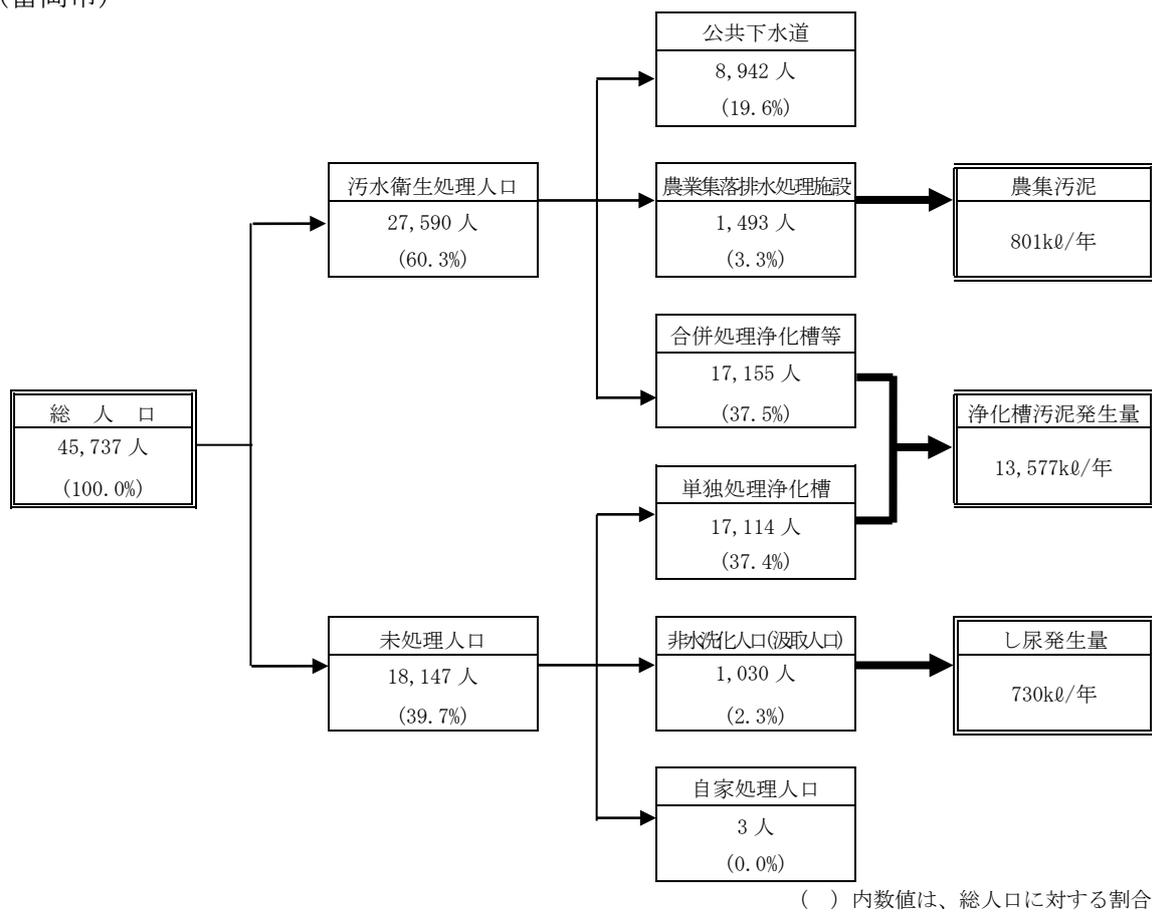


図4-2 目標達成時の生活排水の処理状況フロー（令和6年度）

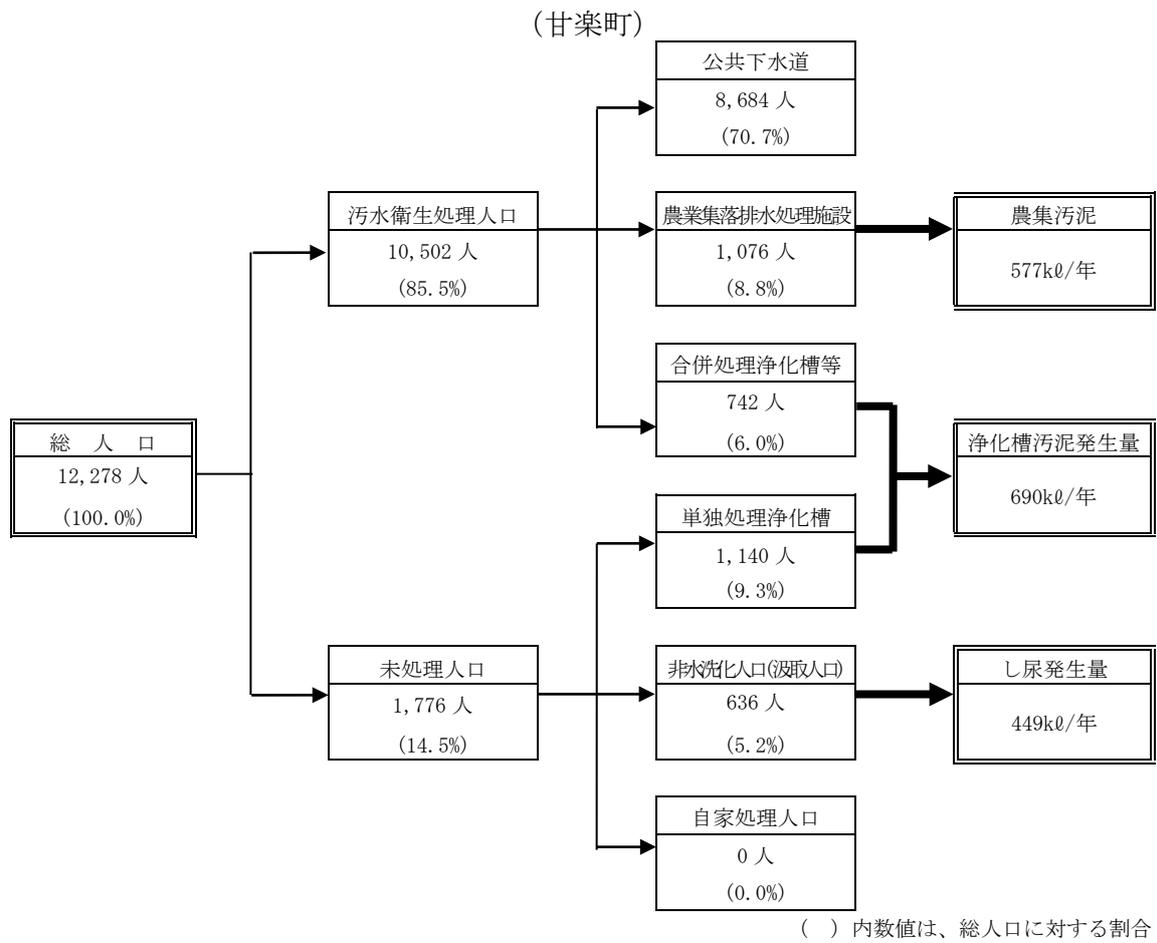


図4-3 目標達成時の生活排水の処理状況フロー（令和6年度）

3 施策の内容

本地域では、3R 運動（循環型社会推進基本法の考えに基づき、「Reduce(リデュース)減らす、Reuse(リユース)繰り返し使う、Recycle(リサイクル)資源として再利用する」によるごみ減量運動)を推進し、ごみの減量化を図る。

特に、ごみのごみとなる前に排出抑制を行うことで、ごみの減量化・資源化を推進する大きな原動力になる。住民・事業者・行政がそれぞれの役割を十分に理解し、連携・協力をもって排出抑制を進めることが重要となるが、排出抑制のための方策として、住民・事業者・行政それぞれの役割を次のとおりとする。

(1) 発生抑制、再使用の推進

ア 住民の排出抑制方策

(富岡市)

- ・ごみの減量化・資源化のための徹底分別
- ・マイバッグの利用
- ・詰め替え製品の優先的な購入
- ・環境学習や環境活動への参加・協力
- ・コンポストや生ごみ処理機による自家処理の取組み

(甘楽町)

- ・ごみ排出者としての責任と自覚
- ・大量消費、大量廃棄のライフスタイルの見直し
- ・民間のリサイクル活動、資源の分別、集団回収、店頭回収への参加

イ 事業者の排出抑制方策

(富岡市)

- ・過剰包装の自粛や簡易包装の推進
- ・レジ袋配布の制限
- ・店頭回収等の実施
- ・グリーン商品開発への取組み

(甘楽町)

- ・排出者責任（自ら適正なごみ処理・処分を行う原則）の自覚
- ・リサイクルに配慮した商品開発、容器回収、資源化システムの整備
- ・過剰包装の抑制、店頭回収の実施等

ウ 行政の排出抑制方策

(富岡市)

- ・廃棄物の分別収集と適正な処理
- ・ごみ減量化・資源化に向けた施策の展開
- ・ごみ処理施設の適正な運営管理
- ・災害時の処理体制の構築
- ・指定ごみ袋の導入等、ごみ処理有料化の検討

(甘楽町)

- ・率先してグリーン商品の購入、再使用、再利用に努める
- ・環境に関する情報、学習機会の提供
- ・3R推進のための町民、事業者との連携、支援強化
- ・近隣自治体と連携し、ごみの広域的な適正処理・処分を推進
- ・指定ごみ袋によるごみ処理の有料化を実施

エ ごみ分別の推進

(富岡市)

- ・パンフレットや広報・施設見学の受入による啓発活動の実施

(甘楽町)

- ・ごみ分別手引き等の冊子や町民カレンダー、広報による啓発活動の実施

オ 生活排水対策

家庭等から排出される汚濁負荷量の削減を図るため、現状に対する認識を高めるための広報活動として、廃油ポット、三角コーナネット、拭取紙等の排出抑制用品の普及、洗剤等の適正使用の啓発活動を図る。

(2) 処理体制

ア 生活系ごみの処理体制の現状と今後

富岡市、甘楽町の平成29年度における分別区分及び処理方法については、表4のとおりである。

可燃ごみの全部と粗大ごみ中の布団、不燃ごみ中の木くずは、富岡市の焼却処理施設で処理を行っている。また、紙・布・びん・ペットボトル・金属類の資源ごみは分別収集を行いリサイクルしている。今後は、生ごみの減量・資源化の推進、剪定枝のチップ化活用により、さらなる減量化・資源化を検討していく。

イ 事業系ごみの処理体制の現状と今後

今後も現状と同様の分別区分において収集、運搬、処分を行う。また、事業系ごみを排出する事業者に対して、事業所におけるごみの減量、処理に関する計画の作成を指導していくとともに、その計画を実際に実施するよう推進していく。

ウ 生活排水処理の現状と今後

生活排水の処理については、引き続き、下水道や農業集落排水処理施設が整備されていない人口散在地域等で合併処理浄化槽の整備を進めていく。なお、甘楽町の農業集落排水は、天引地区が令和3年度、城南上野地区が令和4年度から下水処理施設へ接続する。

また、老朽化しているし尿処理施設については、汚泥再生処理センター整備事業として施設の更新を行う。

エ 今後の処理体制の要点

- ◇ ごみ処理事業、生活排水処理事業の広域化を進めるため、「群馬県一般廃棄物処理広域化マスタープラン」を基に周辺自治体と協議を行っていく。
- ◇ 国の「災害廃棄物対策指針」に基づいて、災害廃棄物処理について計画を策定していく。

(3) 処理施設の整備

ア 廃棄物処理施設

前記(2)の処理体制で処理を行うため、表4のとおり必要な施設整備を行う。

表4 整備する処理施設

事業番号	整備施設種類 施設名	事業名	処理能力	設置予定地	事業期間	国土 強靱化
1	汚泥再生処理センター (仮称)衛生管理センター	富岡甘楽広域市町村圏振興整備組合 汚泥再生処理センター整備事業	50 kℓ/日	群馬県富岡市 田篠 1297 番地 1	R3~R5	—
2	ごみ焼却施設 富岡市清掃センター	ごみ焼却施設基幹的設備改良事業	112.5 t/日	群馬県富岡市 上高尾 187 番地 1	H30~R2	—

※ 現有施設の概要を添付
(整備理由)

事業番号1 し尿処理施設の老朽化、し尿・浄化槽汚泥及び農業集落排水汚泥の再生利用促進

事業番号2 既存焼却施設の老朽化対策のための設備改良(単独事業)

イ 合併処理浄化槽の整備

合併処理浄化槽の整備については、表5のとおり行う。

表5 合併処理浄化槽への移行計画

事業	直近の 整備済基数(基) (平成29年度)	整備計画基数 (基)	整備計画人口 (人)	事業計画	国土 強靱化
浄化槽整備推進事業 (富岡市)	1,378	1,000 200基×5年	3,000 3.0人×1,000基	H30~R4	富岡市 国土強靱化 地域計画
浄化槽設置整備事業 (甘楽町)	184	20 5基×4年	64 3.2人/基×20基	R2~R5	甘楽町 国土強靱化 地域計画
合計	1,562	1,020	3,064		

※富岡市の整備済基数は浄化槽市町村整備推進事業によるものであり、計画基数、計画人口は浄化槽整備推進事業(地方創生交付金事業)によるものである。

(4) 施設整備に関する計画支援事業

(3) の施設整備に先立ち、表6のとおり計画支援事業を行う。

表6 実施する計画支援事業

事業番号	事業名	事業内容	事業期間
1	富岡甘楽広域市町村圏振興整備組合汚泥再生処理センター整備（事業番号1）に係る測量調査・地質調査事業	測量調査 地質調査等	R1
	富岡甘楽広域市町村圏振興整備組合汚泥再生処理センター整備（事業番号1）に係る生活環境影響調査事業	生活環境影響調査	R1
	富岡甘楽広域市町村圏振興整備組合汚泥再生処理センター整備（事業番号1）に係る基本設計事業	基本設計	R1
	富岡甘楽広域市町村圏振興整備組合汚泥再生処理センター整備（事業番号1）に係る発注支援等事業	発注支援等	R2

(5) その他の施策

その他、地域の循環型社会を形成する上で、次の施策を実施していく。

ア 再生利用品の需要拡大事業

(富岡市)

市民は使い捨て商品の使用抑制に努め、市は市民に対し繰り返し使える容器、詰め替え容器の利用及び再生品の購入を心掛けるライフスタイルを選択するように啓発していく。

(甘楽町)

再生品等の供給面に加えて、需要面からの取組みが重要であることから、町は率先して環境物品等の調達を推進するとともに、情報提供を促進して需要の転換を図る。

イ 廃棄物の資源化事業の推進

- ・ 廃食油の資源化（バイオディーゼル燃料化）実施
- ・ 剪定枝のチップ化の検討
- ・ 生ごみの資源化の検討

ウ 不法投棄対策

(富岡市)

県、事業者、市民とともにパトロールを実施する等、監視体制を強化する。また、モラル向上のための啓発活動を行っていく。

(甘楽町)

- ・土地所有者、管理者に対する対策の要請
- ・監視体制の強化
- ・町民、環境保健協会、警察、NPO等との連携

エ 災害時の廃棄物処理に関する事項

災害発生時のごみ処理を適正に行うため、処理施設の予防保全、耐震化、電源・水源の確保、被災時時の処理体制の検討、地域内及び周辺地域との連携等、防災対策に努める。災害時には迅速に情報を収集し、被災状況に応じた処理体制の構築を図る。また、残置物、災害廃棄物を選別、保管できる仮置場確保等の適正処理を図る。災害廃棄物処理計画については、構成市町で策定中である。

4 計画のフォローアップと事後評価

(1) 計画のフォローアップ

富岡甘楽広域市町村圏振興整備組合、富岡市及び甘楽町は、毎年、計画の進捗状況を把握し、その結果を公表するとともに、必要に応じて、群馬県及び国と意見交換しつつ、計画の進捗状況を勘案し、計画の見直しを行う。

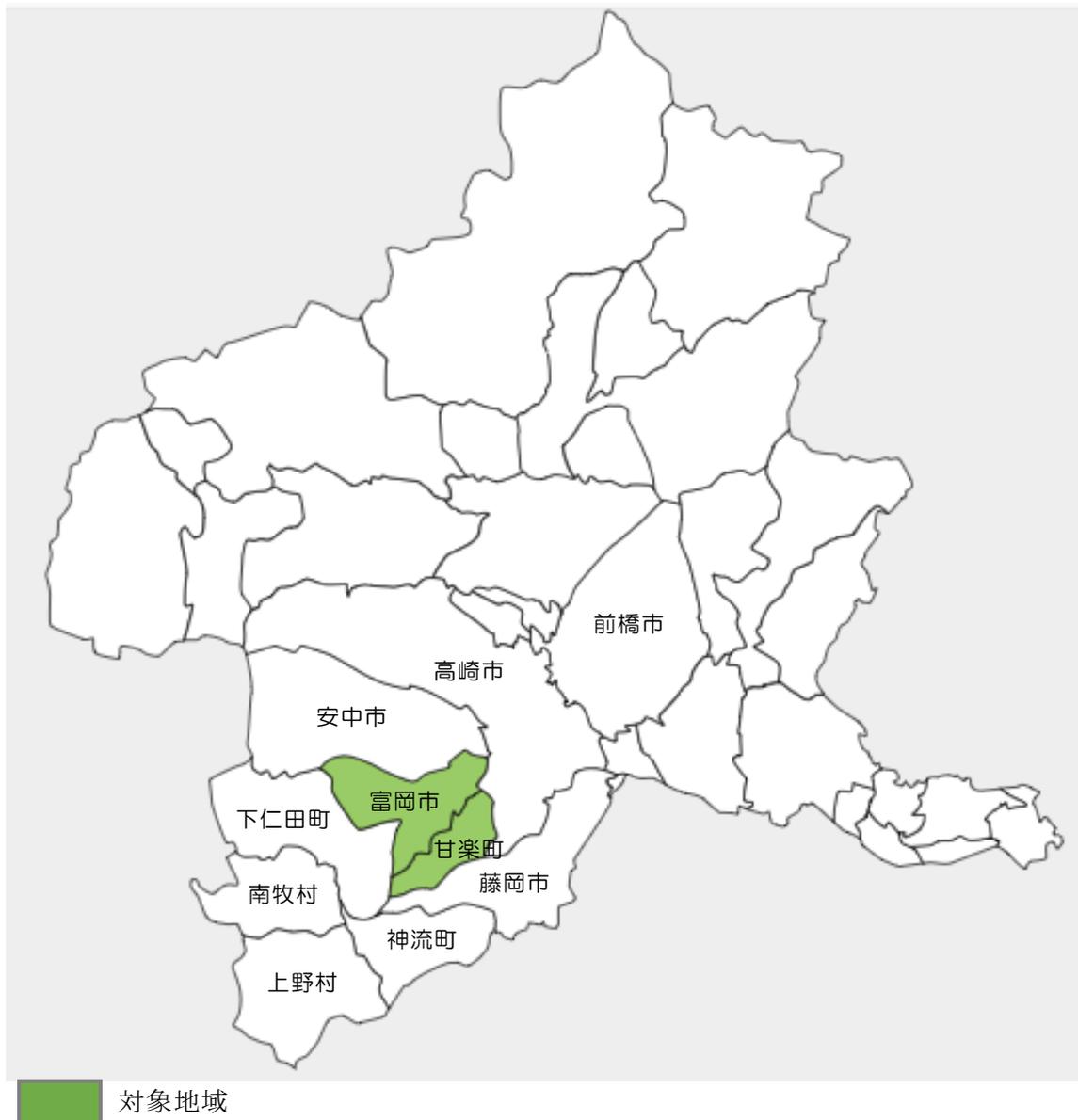
(2) 事後評価及び計画の見直し

計画期間終了後、処理状況の把握を行い、その結果が取りまとまった時点で、速やかに計画の事後評価、目標達成の状況の評価を行う。

また、評価の結果を公表するとともに、評価結果を次期計画策定に反映させるものとする。

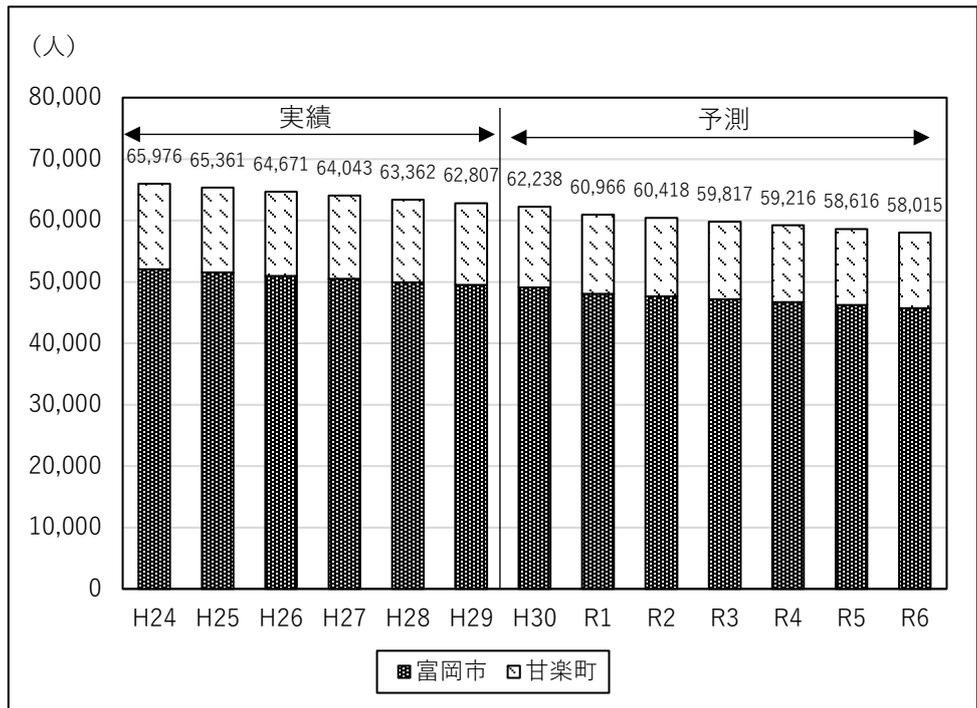
なお、計画の進捗状況や社会経済情勢の変化等を踏まえ、必要に応じ計画を見直すものとする。

添付資料 1

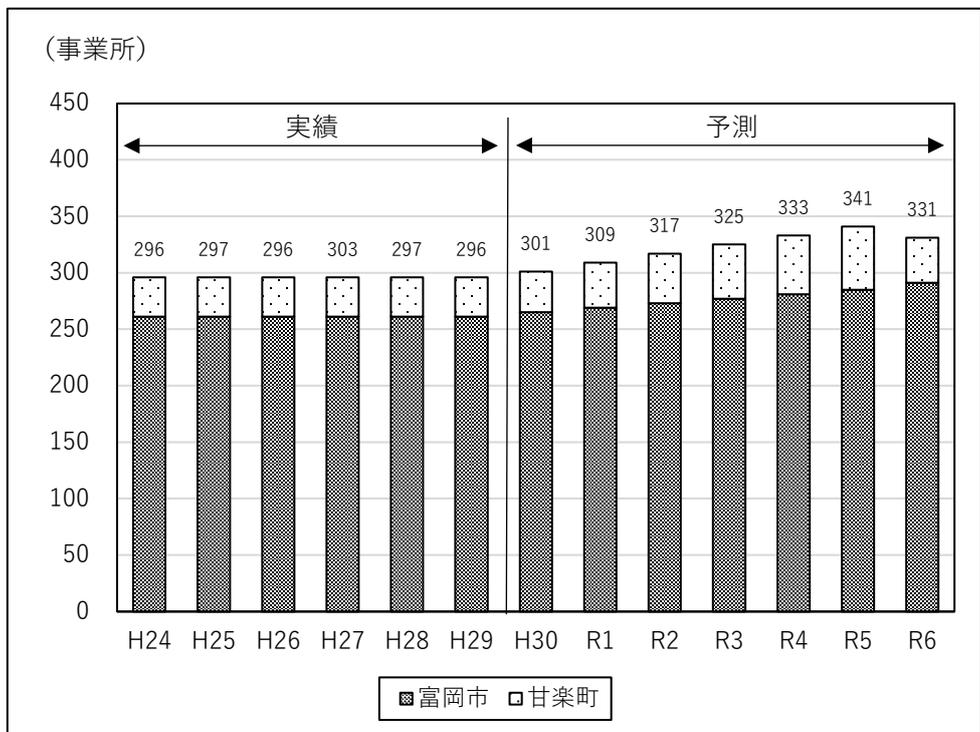


添付図 1 - 1 対象地域図

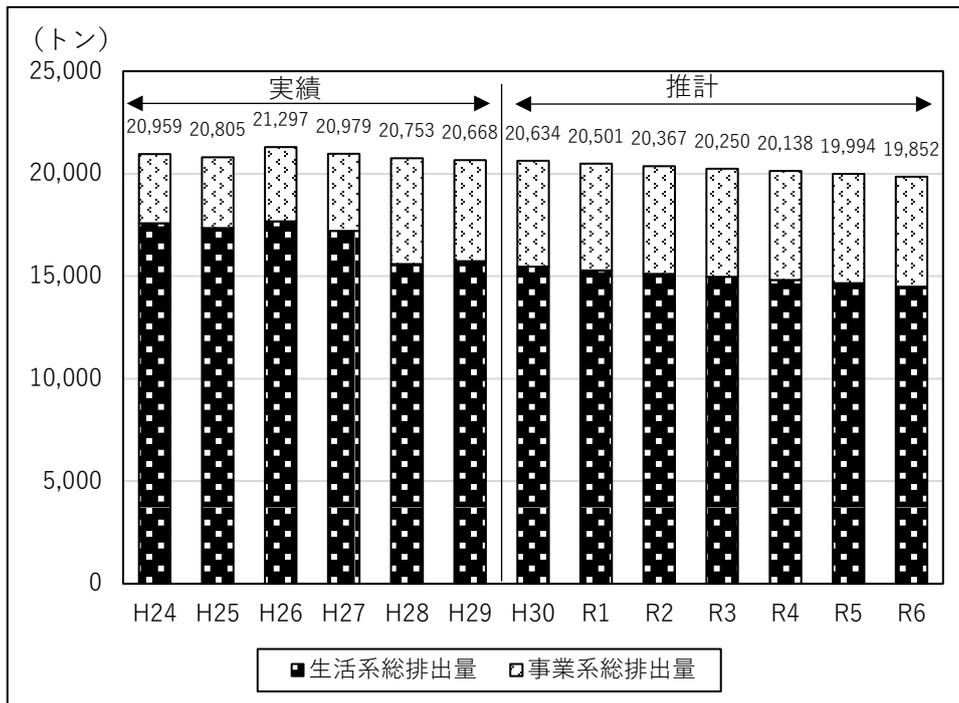
添付資料2 トレンドグラフ



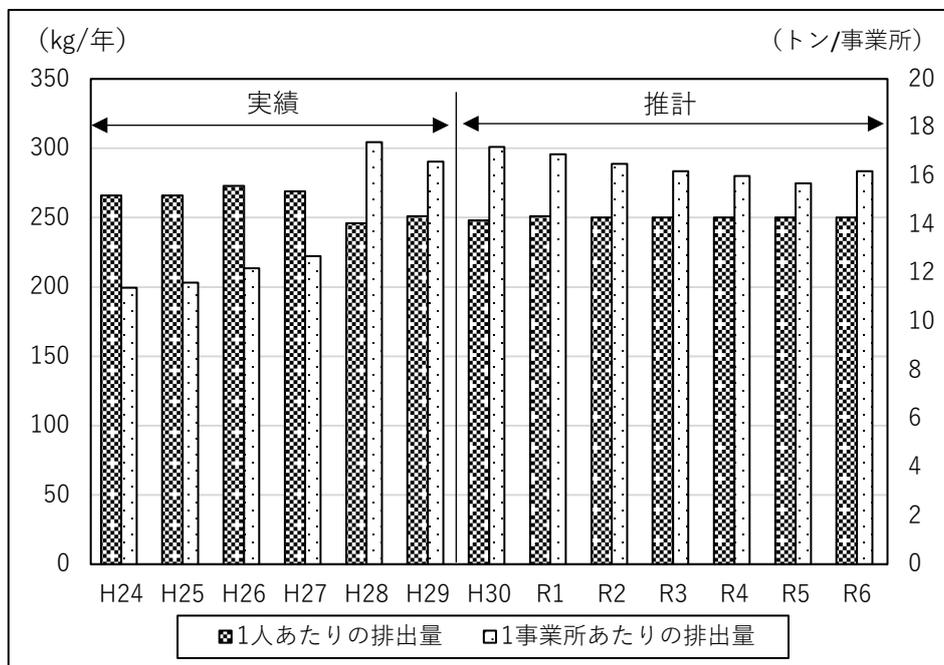
添付図2-1 人口の推移



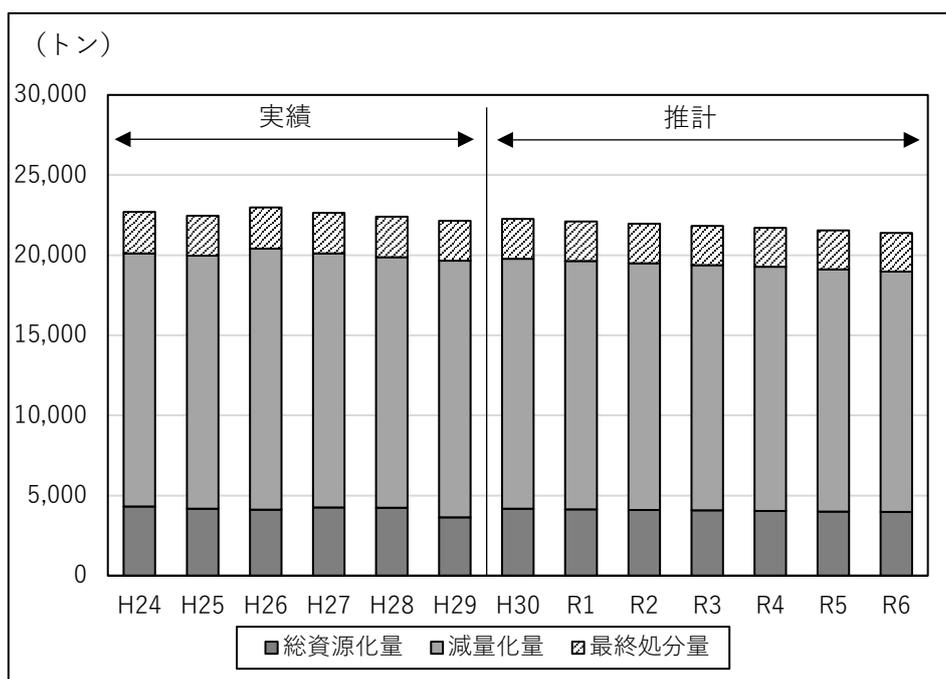
添付図2-2 事業所数の推移



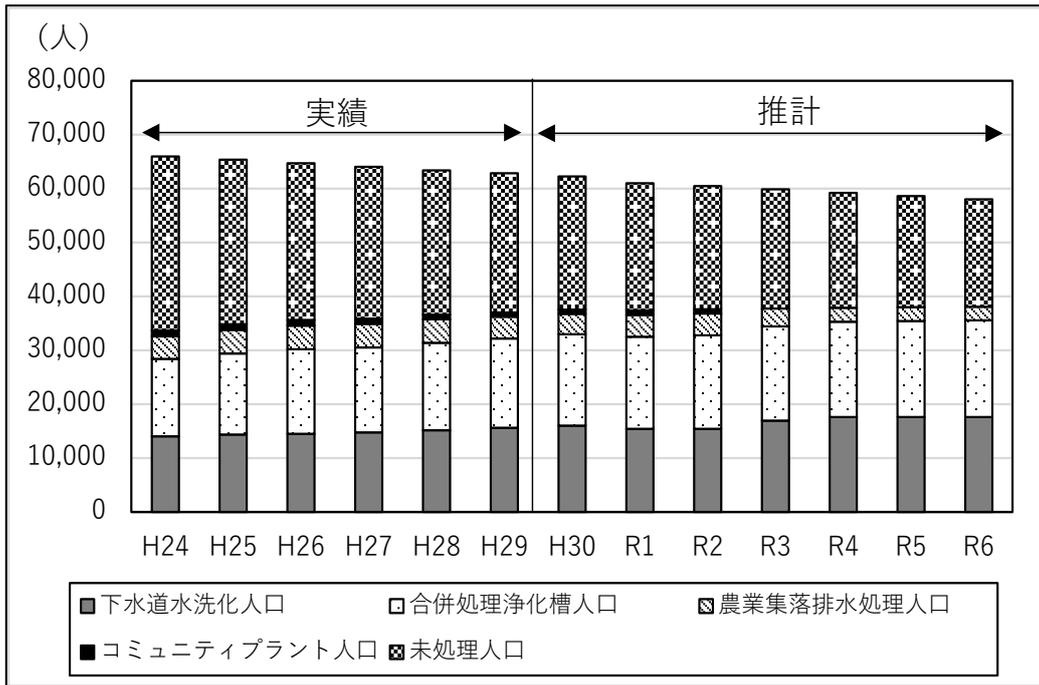
添付図 2-3 事業系・生活系総排出量の推移



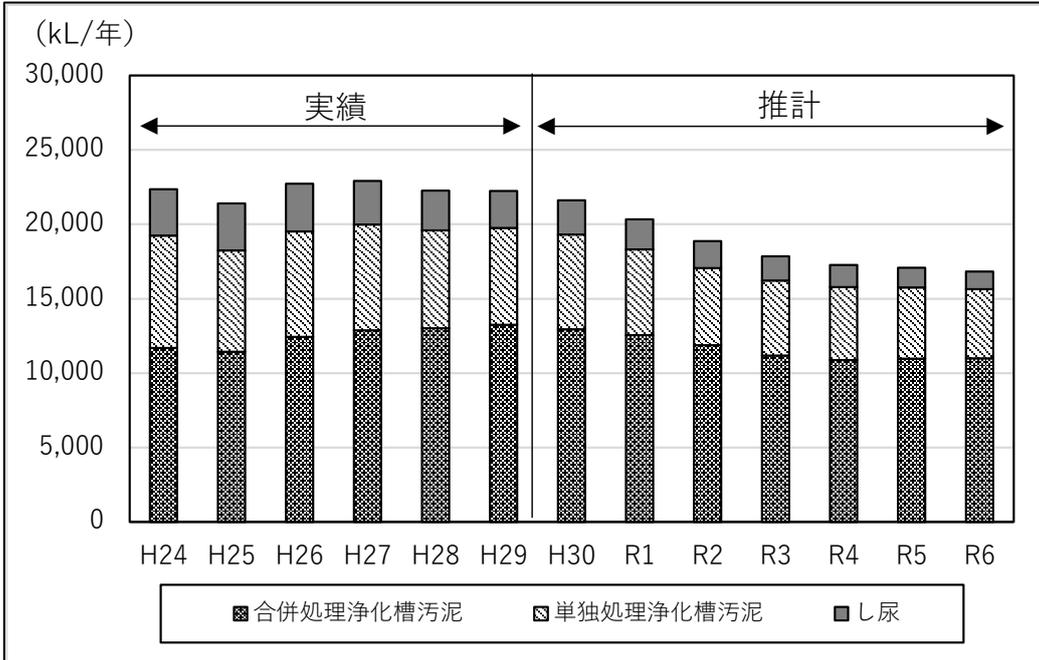
添付図 2-4 1事業所あたり・1人あたりの排出量



添付図 2-5 ごみ処理量の推移



添付図 2-6 処理形態別人口の推移



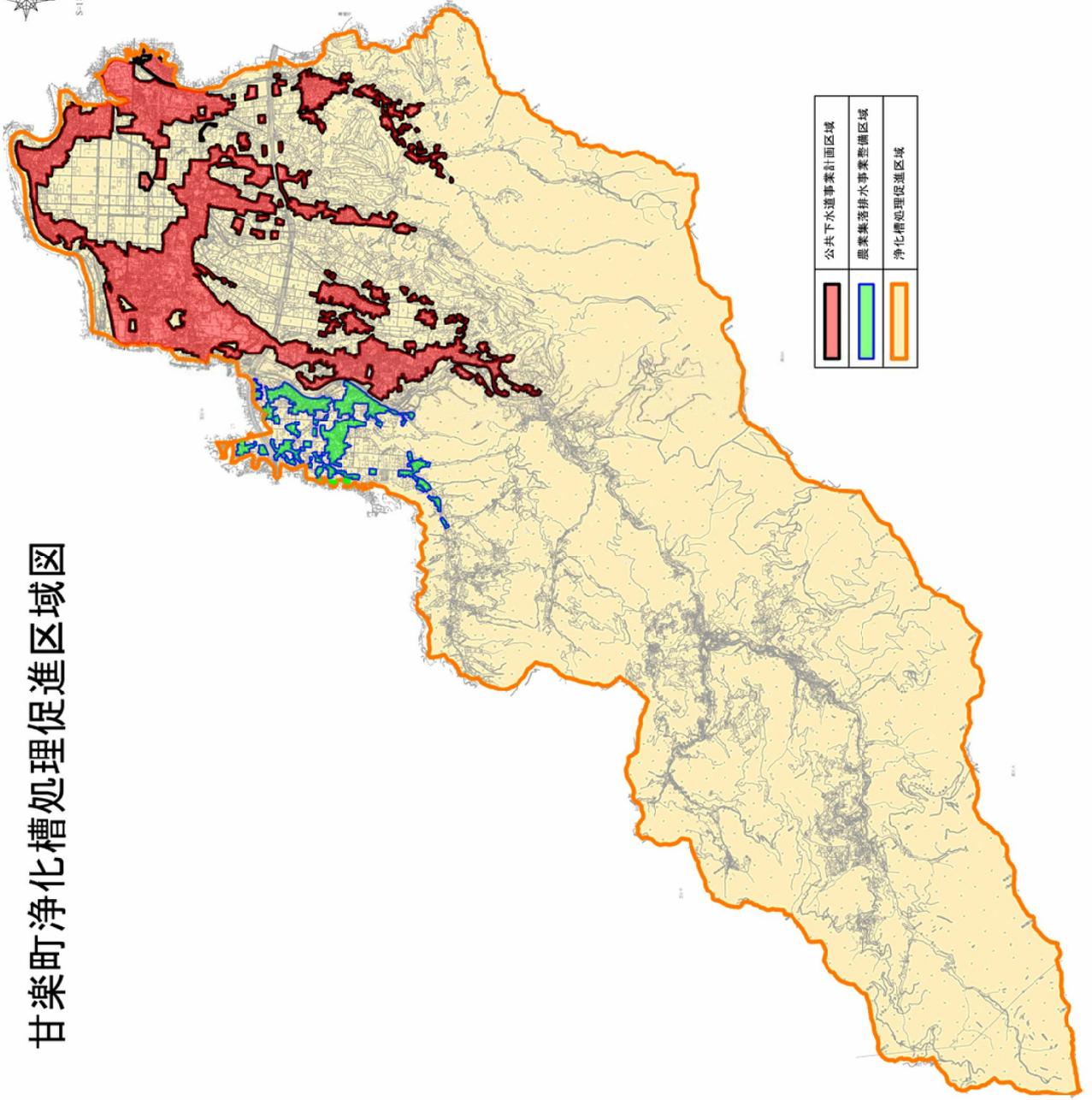
添付図 2-7 し尿・汚泥量の推移

添付資料 3

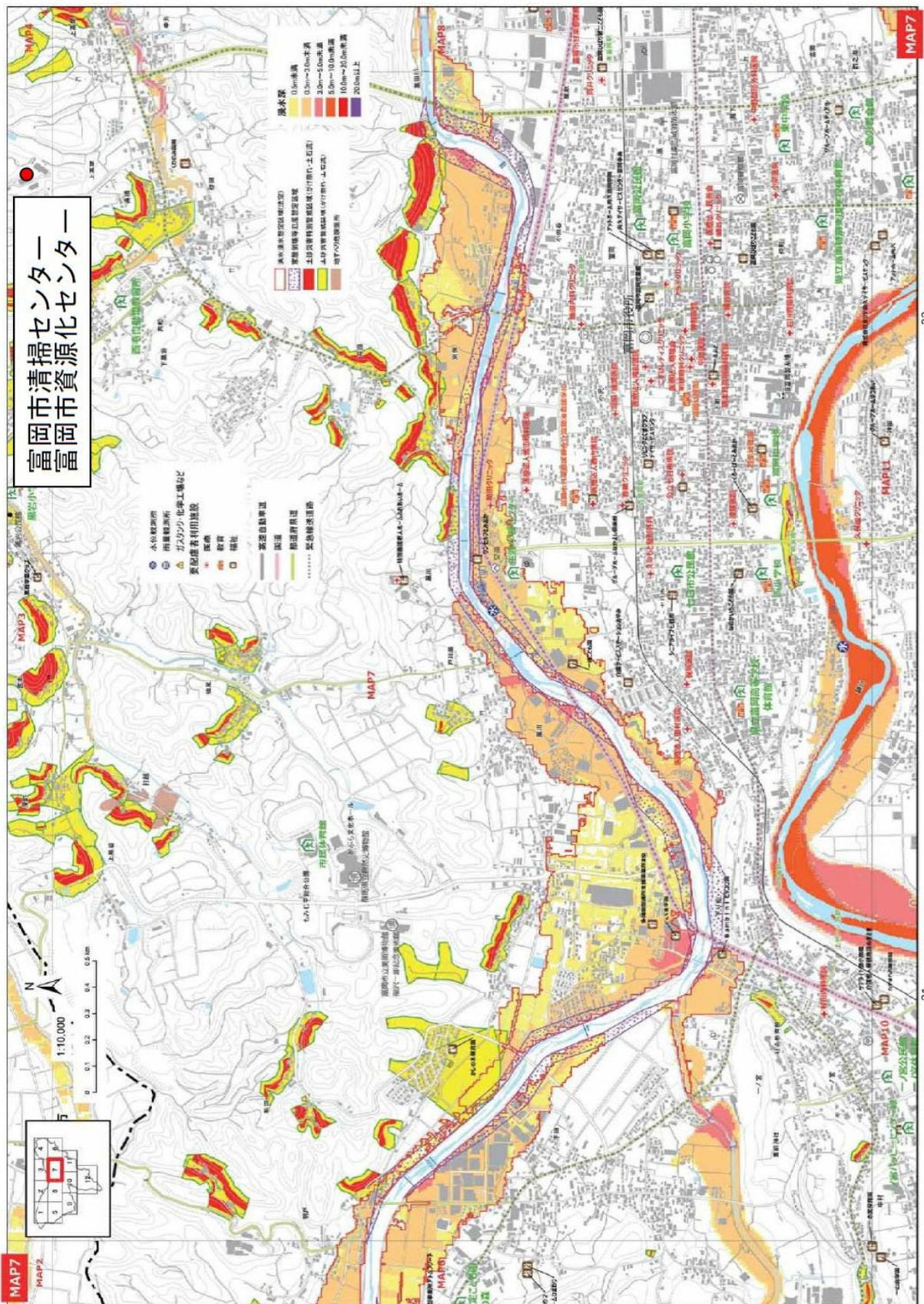


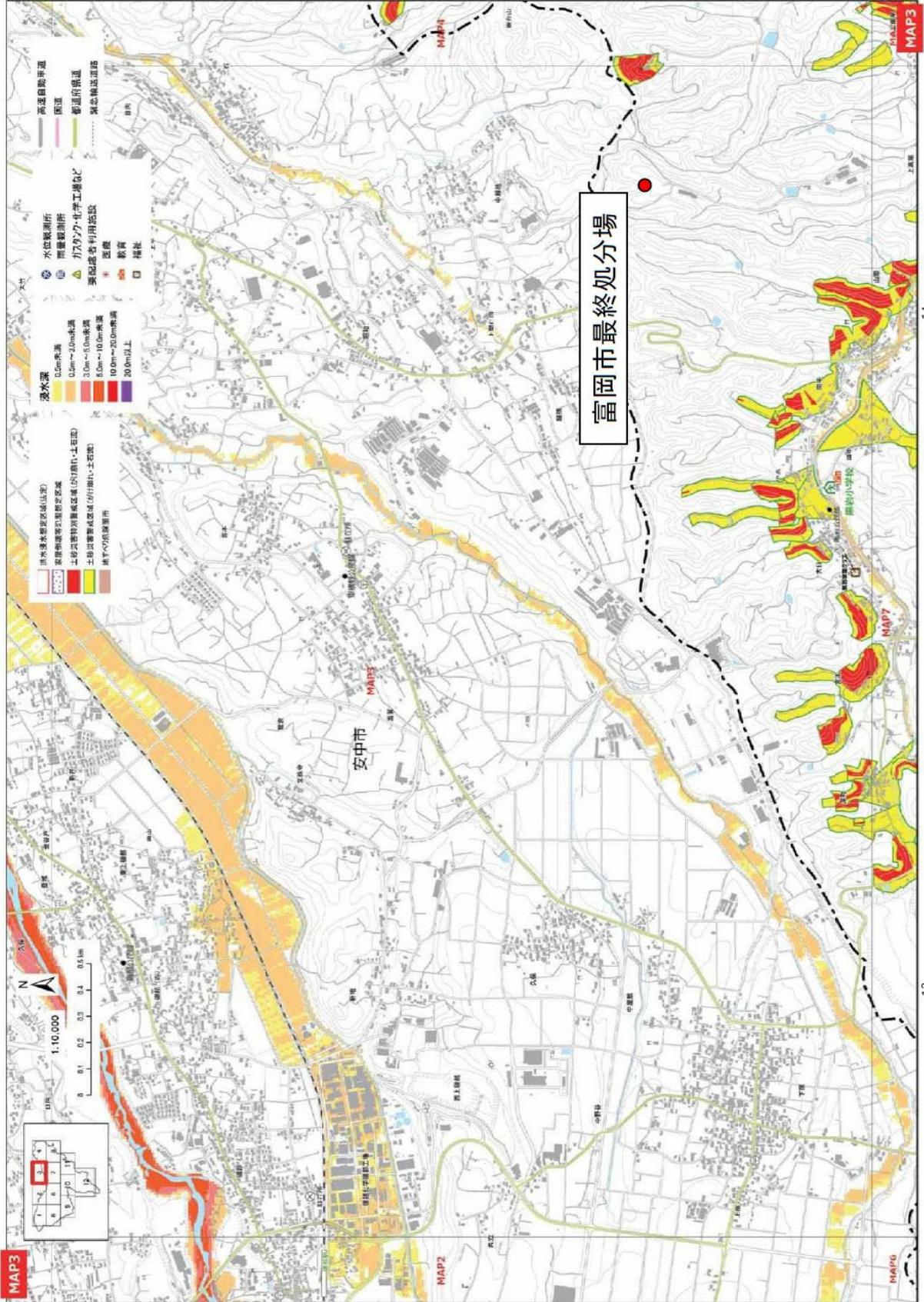
施設位置図（現況＝予定）

甘楽町浄化槽処理促進区域図



現有及び新設予定の廃棄物処理施設が所在する地域のハザードマップ



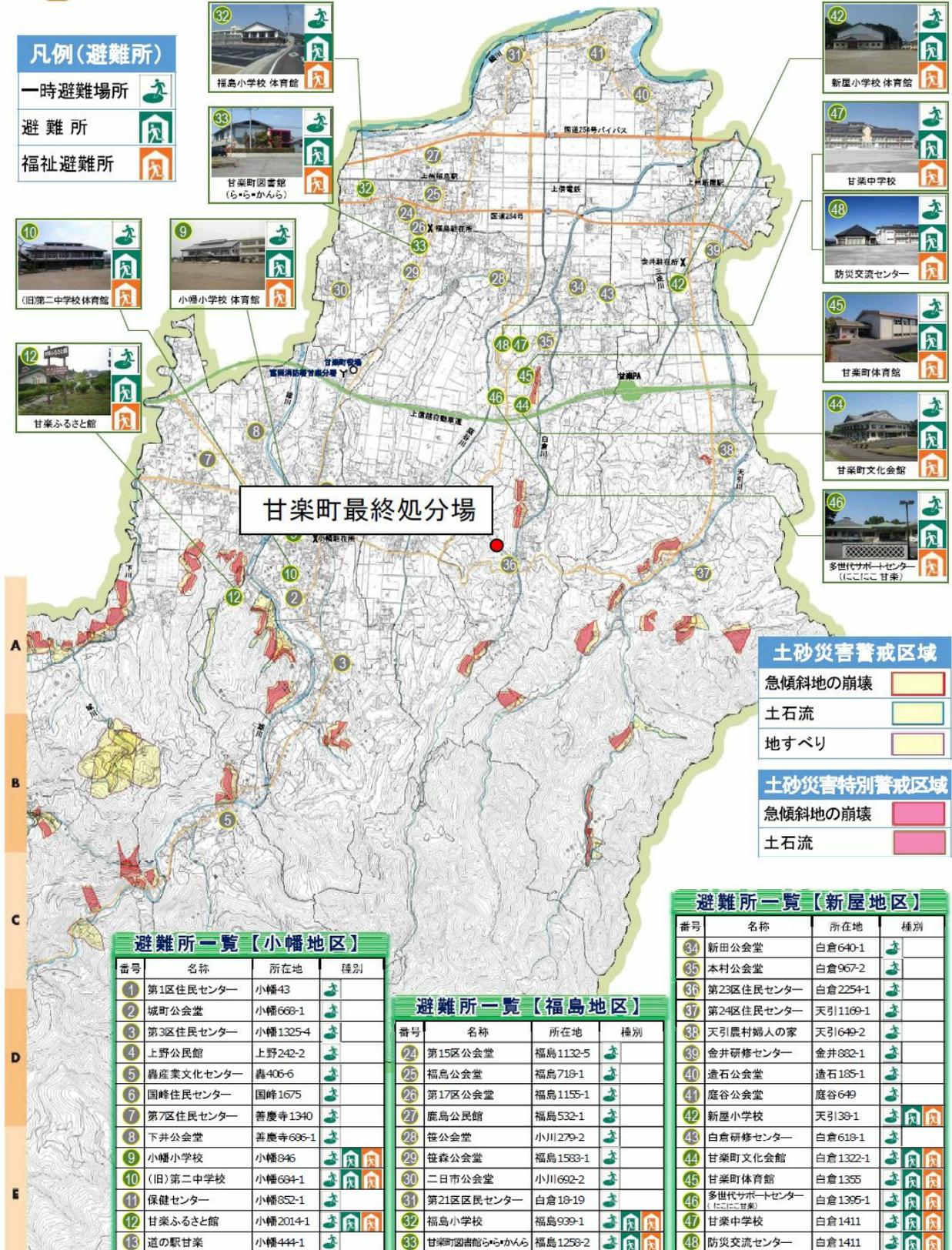


富岡市防災マップ抜粋



甘楽町避難所／土砂災害ハザードマップ(北部)

- 凡例(避難所)**
- 一時避難場所
 - 避難所
 - 福祉避難所



甘楽町最終処分場

- 土砂災害警戒区域**
- 急傾斜地の崩壊
 - 土石流
 - 地すべり
- 土砂災害特別警戒区域**
- 急傾斜地の崩壊
 - 土石流

避難所一覧【小幡地区】

番号	名称	所在地	種別
1	第1区住民センター	小幡43	
2	城町公会堂	小幡668-1	
3	第3区住民センター	小幡1325-4	
4	上野公民館	上野242-2	
5	農産業文化センター	轟406-6	
6	国峰住民センター	国峰1675	
7	第7区住民センター	善慶寺1340	
8	下井公会堂	善慶寺606-1	
9	小幡小学校	小幡846	
10	(旧)第二中学校	小幡684-1	
11	保健センター	小幡852-1	
12	甘楽ふるさと館	小幡2014-1	
13	道の駅甘楽	小幡444-1	

避難所一覧【福島地区】

番号	名称	所在地	種別
24	第15区公会堂	福島1132-5	
25	福島公会堂	福島718-1	
26	第17区公会堂	福島1155-1	
27	鹿島公民館	福島532-1	
28	笹公会堂	小川279-2	
29	笹森公会堂	福島1583-1	
30	二日市公会堂	小川692-2	
31	第21区住民センター	白倉18-19	
32	福島小学校	福島939-1	
33	甘楽町図書館らら・かんら	福島1259-2	

避難所一覧【新屋地区】

番号	名称	所在地	種別
34	新田公会堂	白倉640-1	
35	本村公会堂	白倉967-2	
36	第23区住民センター	白倉2254-1	
37	第24区住民センター	天引1169-1	
38	天引農村婦人の家	天引649-2	
39	金井研修センター	金井882-1	
40	造石公会堂	造石185-1	
41	庭谷公会堂	庭谷649	
42	新屋小学校	天引38-1	
43	白倉研修センター	白倉618-1	
44	甘楽町文化会館	白倉1322-1	
45	甘楽町体育館	白倉1355	
46	多世代サポートセンター (にこにこ甘楽)	白倉1395-1	
47	甘楽中学校	白倉1411	
48	防災交流センター	白倉1411	

第4章 強靱化の推進方針

2-2	下水道・浄化槽の整備推進	重点化施策Ⅱ	
担当部署	環境課、上下水道整備課、上下水道施設課		
リスクシナリオ	B-5, E-1, G-1		
推進方針・対応方策			
<ul style="list-style-type: none"> ・災害時のし尿処理に備え、体制維持を行ないます。 ・ストックマネジメント計画を策定し、計画に沿った下水道・農業集落排水の更新を行ないます。 ・R3年度より市町村設置型浄化槽から個人設置型浄化槽設置に移行しますが、引き続き合併浄化槽の推進を行なっていきます。 			
主な事業		担当部署	
し尿処理対策事業		環境課	
公共下水道建設事業（企業会計）		上下水道整備課	
農業集落排水建設事業（企業会計）		上下水道整備課	
浄化槽整備事業（企業会計）		上下水道施設課	
KPI（重要業績評価指標）	現状	目標	担当部署
【富岡市総合計画まちづくりの目標】 汚水処理人口普及率	63.7%（2020）	77.5%（2022） 80%（2026）	上下水道施設課
対応するSDGs（富岡市総合計画から引用）			

リスクシナリオ 6-3	汚水処理施設等長期間にわたる機能停止
----------------	--------------------

重要業績指標 (KPI)	現状値 (年)	目標値 (年)
老朽污水管更新	6 km (R2)	8.5 km (R7)
合併浄化槽の整備	140 基 (R2)	165 基 (R7)
農業集落排水処理場への 発電機整備率	100% (R2)	継続
農業集落排水処理から 公共下水道処理への移管	—	2 地区 (R5)
仮設トイレの確保 (レンタル業者との協定締結)	—	1 企業 (R7)

リスクシナリオ 6-4	地域交通ネットワークの長期分断
----------------	-----------------

重要業績指標 (KPI)	現状値 (年)	目標値 (年)
基幹町道整備 (天王下平線)【再掲】	300m (R2)	600m (R7)
基幹町道整備 (大山線)【再掲】	—	250m (R7)
基幹町道整備 (梨子木多井戸線) 【再掲】	—	調査・測量完了 (R7)
橋梁改修【再掲】	6 箇所整備済 (R2)	11 箇所 (R7)
県道整備 (金井・高崎線)【再掲】	140m (R2)	660m (R7)
県道歩道整備 (富岡・神流線)【再掲】	1,350m (R2)	1,500m (R7)
国道交差点整備 (福島交差点)【再掲】	整備中	1 箇所 (R7)
甘楽 PA スマートインターチェンジ開設【再掲】	整備中	開設 (R5)
県道富岡神流線トンネル整備【再掲】	要望中	調査開始 (R7)
林道改良整備【再掲】	2 箇所 (R2)	継続
県営基幹林道開設【再掲】	10,930m (R2)	12,000m (R7)
作業道整備【再掲】	2 km (R2)	継続

様式1

循環型社会形成推進交付金等事業実施計画 総括表1

1 地域の概要

(1) 地域名	富岡市、甘楽町地域	(2) 地域内人口	62,486人	(3) 地域面積	181.46km ²
(4) 構成市町村等名	富岡市、甘楽町、富岡甘楽広域市町村圏振興整備組合	(5) 地域の要件*	人口 面積 沖繩 離島 奄美 豪雪、山村 半島 過疎 その他		
(6) 構成市町村に一部事務組合等が含まれる場合、当該組合の状況	組合を構成する市町村：富岡市、下仁田町、南牧村、甘楽町 設立(予定)年月日：昭和46年9月1日 設立、認可予定				

*交付要綱で定める交付対象となる要件のうち、該当する項目全てに○を付ける。

2 一般廃棄物の減量化、再生利用の現状と目標

指標・単位	過去の状況・現状(排出量等に対する割合)						目標
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	令和6年度	
排出量	事業系 総排出量(トン)	3,448	3,615	3,762	5,162	4,928	5,356(H29年度比+8.7%)
	1事業所当たりの排出量(トン/事業所)	11.6	12.2	12.4	17.4	16.6	16.2
	生活系 総排出量(トン)	17,357	17,682	17,217	15,591	15,740	14,496(H29年度比-7.9%)
合計	20,805	21,297	20,979	246	251	250	19,852(H29年度比-3.9%)
再生利用量	直接資源化量(トン)	2,523(12.1%)	2,432(11.4%)	2,609(12.4%)	2,591(12.5%)	2,185(10.6%)	2,433(12.3%)
	総資源化量(トン)	4,188(18.6%)	4,117(17.9%)	4,262(18.8%)	4,233(18.9%)	3,652(16.5%)	3,976(18.6%)
エネルギー回収量	-	-	-	-	-	-	-
エネルギー回収量	-	-	-	-	-	-	-
最終処分量	2,503(12.0%)	2,562(12.0%)	2,527(12.0%)	2,512(12.1%)	2,469(11.9%)	2,411(12.1%)	

※ 別添資料として指標と人口等の要因に関するトレンドグラフを添付する。

一般廃棄物処理計画と目標値が異なる場合に、地域計画と一般廃棄物処理計画との整合性に配慮した内容

地域計画作成時点での最新の実績値を基に目標値を設定した。

循環型社会形成推進交付金等事業実施計画 総括表1

3 一般廃棄物処理施設の現況と更新、廃止、新設の予定

(1) 現有施設リスト

施設種別	施設名	事業主体	型式及び処理方式	処理能力(単位)	開始年月	廃止又は休止(予定)年月	解体(予定)年月	想定される浸水深と対策	備考
し尿処理施設	衛生管理センター	富岡甘藷丘・城市町村圏振興整備組合	好気性消化処理方式	75kL/日	S54年3月	R6年12月	未定	想定される浸水深0.5~3.0m未滿)	
ごみ焼却施設	富岡市清掃センター	富岡市	ストーカ式	112.5t/日	H5年4月	R18年3月	未定	浸水は想定されていない。	
最終処分場	富岡市一般廃棄物最終処分場(上高尾)	富岡市	準好気性	266,556m ³	H17年	R36年12月	未定	浸水は想定されていない。	
最終処分場	甘藷町一般廃棄物最終処分場	甘藷町	サンドイッチ方式	29,400m ³	H11年4月	R11年3月	未定	浸水は想定されていない。	
資源ごみ・不燃物・粗大ごみ処理施設	富岡市資源化センター	富岡市	選別・圧縮(資源ごみ)焼却・手選別(不燃ごみ)	33t/5h	H14年4月	R18年3月	未定	浸水は想定されていない。	

(2) 更新(改良)・新設施設リスト

施設種別	施設名	事業主体	型式及び処理方式	処理能力(単位)	竣工予定年月日	更新(改良)・新設理由	焼却施設等の解体の有無及び解体施設の名称	想定される浸水深と対策	プラスチック等難燃化を促進するための施設整備事業	備考
汚泥再生処理センター	(仮称)衛生管理センター	富岡甘藷丘・城市町村圏振興整備組合	標準脱窒素方式	50kL/日	R6年3月	既存施設老朽化による更新	無	0.5~3.0m未滿の浸水深が想定されるため、1mの嵩上を行う。	—	
ごみ焼却施設	富岡市清掃センター	富岡市	ストーカ式	112.5t/日	R3年3月	施設の延命化及びCO2排出量削減のための基幹的設備改良	無	浸水は想定されていない。	—	

4 生活排水処理の現状と目標

指標・単位	過去の状況・現状					目標
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
総人口	65,361	64,671	64,043	63,362	62,807	58,015
公共下水道	14,337 21.9%	14,473 22.4%	14,754 23.0%	15,172 23.9%	15,593 24.8%	17,626 30.4%
集落排水施設等	5,429 8.3%	5,416 8.4%	5,332 8.3%	5,257 8.3%	4,870 7.8%	2,569 4.4%
合併処理浄化槽等	15,061 23.0%	15,703 24.3%	15,763 24.6%	16,183 25.5%	16,569 26.4%	17,897 30.8%
未処理人口	30,534 46.7%	29,079 45.0%	28,194 44.0%	26,750 42.2%	25,775 41.0%	19,923 34.3%

※ 別添資料として指標と人口等の要因に関するトレンドグラフを添付のこと。(別紙参考を参照)

5 浄化槽の整備の状況と更新、廃止、新設の予定

施設種別	事業主体	現有施設の内容		整備予定基数の内容		備考
		基数	処理人口	基数	処理人口	
浄化槽市町村整備推進事業	富岡市	1,378基	4,134人	—	—	H29年度終了
浄化槽整備推進事業	富岡市	—	—	1,000基	3,000人	地方創生交付金事業
浄化槽設置整備事業	甘楽町	184基	589人	20基	64人	

※ 計画地域内の施設の状況(現況、予定)を地図上に示したものを添付のこと。

循環型社会形成推進交付金等事業実施計画総括表2(平成30年度)

事業種別	事業番号 ※1	事業主体 名称※2	規模	事業期間 交付期間	国土 強靱 化地 域計 画	総事業費(千円)					交付対象事業費(千円)					備考		
						令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度			
																	令和元年度	令和2年度
○浄化槽に関する事業						6,640	0	1,660	1,660	1,660	1,660	0	5,580	0	1,395	1,395	1,395	
浄化槽設置整備	4	甘菜町		R2	○	6,640	0	1,660	1,660	1,660	1,660	0	5,580	0	1,395	1,395	1,395	
○し尿処理施設に関する事業						2,313,486	0	0	8,800	174,910	2,129,776	0	1,656,800	0	0	94,728	1,562,072	
汚泥再生処理センター整備	1	富岡甘菜広域市 町村圏振興整備 組合	50kL/日	R3	—	2,313,486	0	0	8,800	174,910	2,129,776	0	1,656,800	0	0	94,728	1,562,072	
○施設整備に関する計画支援事業						27,654	19,239	8,415	0	0	0	0	27,654	19,239	8,415	0	0	
汚泥再生処理センター整備						27,654	19,239	8,415	0	0	0	0	27,654	19,239	8,415	0	0	
測量調査・地質調査等	31	富岡甘菜広域市 町村圏振興整備 組合		R1	—	11,154	11,154	0	0	0	0	0	11,154	11,154	0	0	0	
生活環境影響調査	31	富岡甘菜広域市 町村圏振興整備 組合		R1	—	5,137	5,137	0	0	0	0	0	5,137	5,137	0	0	0	
基本設計	31	富岡甘菜広域市 町村圏振興整備 組合		R1	—	2,948	2,948	0	0	0	0	0	2,948	2,948	0	0	0	
発注支援等	31	富岡甘菜広域市 町村圏振興整備 組合		R2	—	8,415	0	8,415	0	0	0	0	8,415	0	8,415	0	0	
合計						2,947,780	19,239	10,075	10,460	176,570	2,131,436	1,690,034	1,690,034	19,239	9,910	1,395	96,123	1,563,467

富岡甘菜広域市町村圏振興整備組合：富岡市、甘菜町

施設概要（し尿処理施設）

都道府県名 群馬県

(1) 事業主体名	富岡甘楽広域市町村圏振興整備組合
(2) 施設名称	富岡甘楽広域市町村圏振興整備組合衛生管理センター
(3) 工期 ※1	令和3年度 ～ 令和5年度
(4) 施設規模	処理能力 50kL/日
(5) 形式及び処理方式	標準脱窒素処理方式＋高度処理
(6) 地域計画内の役割	老朽化した施設の更新を行い、合わせて施設規模の縮小、適正化を図るとともに、現在焼却している脱水汚泥を農業集落排水処理施設汚泥とともに助燃剤として資源化を図る。
(7) 廃焼却施設解体工事の有無	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>

「汚泥再生処理センター」を整備する場合

(8) 資源化の方法	汚泥の助燃剤化
(9) 資源化物の利用計画	ごみ焼却施設で利用

「コミュニティ・プラント」を整備する場合

(10) 計画処理人口及び面積	人口 人 面積 m ²
(11) 計画地域の性格	

(12) 総事業計画額 ※2	2,313,486 千円（全体：2,313,486千円） うち、交付対象事業費 1,656,800千円（全体：1,656,800千円）
----------------	--

※1 事業が複数の地域計画にまたがる場合、本地域計画期間内の工期、金額を記載し、全体の工期、金額を括弧書きすること。

※2 し尿処理施設の基幹的設備改進黨を実施する場合は、二酸化炭素の削減率を記載すること。また、汚泥再生処理センターを整備する場合は、し尿・浄化槽汚泥と併せて処理する生ごみ等の有機性廃棄物が何であるかを記載すること。

施設概要（浄化槽系）

都道府県名 群馬県

(1) 事業主体名	甘楽町
(2) 事業名称	浄化槽設置整備事業
(3) 事業の実施目的及び内容	甘楽町における生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止するため、浄化槽の設置に要する経費の一部について、予算の範囲内において甘楽町浄化槽設置整備事業費を交付する。
(4) 事業期間	令和2年度 ～ 令和5年度
(5) 事業対象地域の要件	人口 面積 沖縄 離島 奄美 豪雪 山村 半島 過疎 その他 該当する対象地域を選択する。
(6) 事業計画額	交付対象事業費 5,580千円 うち (以下の事業を実施する場合) ・環境配慮・防災まちづくり浄化槽整備推進事業に係る事業費 5,580千円 ・公的施設単独処理浄化槽集中転換事業に係る事業費 千円

○ 事業計画額の内訳及び浄化槽の整備規模
【浄化槽設置整備事業の場合】

区分	交付対象基数 (人分)	基準額	対象経費 支出予定額	交付対象 事業費
5人槽	20基 (64人分)	6,640千円	5,580千円	5,580千円
6～7人槽	基 (人分)			
8～10人槽	基 (人分)			
11～20人槽	基 (人分)			
21～30人槽	基 (人分)			
31～50人槽	基 (人分)			
51人槽以上	基 (人分)			
宅配配管費	基			
撤去費	基			
雨水貯留槽等 再利用	基			
改築費(災害)	基			
改築費(長寿命 化)	基			
浄化槽整備 効率化事業費	台帳作成費			
	計画策定等調査費			
	効果的な転換促進及び管理適正化推進費			
合計	20基 (64人分) ※基数の合計には、宅内配管 費、撤去費、改築費を除く。	6,640千円	5,580千円	5,580千円

計 画 支 援 概 要

都道府県名 群馬県

(1) 事業主体名	富岡甘楽広域市町村圏振興整備組合			
(2) 事業目的	汚泥再生処理センター施設整備のため			
(3) 事業名称	富岡甘楽広域市町村圏振興整備組合汚泥再生処理センター整備（事業番号1）に係る測量調査・地質調査事業	富岡甘楽広域市町村圏振興整備組合汚泥再生処理センター整備（事業番号1）に係る生活環境影響調査事業	富岡甘楽広域市町村圏振興整備組合汚泥再生処理センター整備（事業番号1）に係る基本設計事業	富岡甘楽広域市町村圏振興整備組合汚泥再生処理センター整備（事業番号1）に係る発注支援等事業
(4) 事業期間 ※1	令和元年度	令和元年度	令和元年度	令和2年度
(5) 事業概要	測量調査・地質調査等	生活環境影響調査	基本設計	発注支援等
(6) 総事業計画額 ※1	11,154 千円	5,137 千円	2,948 千円	8,415 千円

※1 事業が複数の地域計画にまたがる場合、本地域計画期間内の工期、金額を記載し、全体の工期、金額を括弧書きすること。